

製造業

◇パン…台風18号による水害の影響で、常総市内の組合員企業が罹災した。工場は少し高いところがあり、水没しなかったが電気と水がストップし、他の市町村に助けをもらった。10月より操業再開予定。

◇酒…8月の課税移出数量は99.8%とほぼ前年同月並み。全国の各国税局管内では、昨年比プラスに転じている。特定名称酒(吟醸・純米・本醸造)は前年を上回ったがその反面、普通酒は落ち込んだ。焼酎については86.9%と復調の兆しが見えない。「量」から「質」への嗜好変化が見てとれる。最近、大手酒造メーカーは、銘柄を出さずに特定名称酒の種類名を前面に出し、安値を競っている。これは納得しがたい。酒税の見直しが現実味を帯びてきている現在、ブランド育成こそ成長の鍵である。清酒輸出については、組合員が積極的に取り組んでおり、堅調な伸びを示している。

日本酒造組合中央会は、10月1日に「全国一斉日本酒で乾杯」イベントを開催。海外も含め合計46,906名が一斉乾杯を行った。当県の会場でも県知事、4市長ほか関係者ら約200名が参加し、一斉乾杯を行った。10月9日には「茨城地酒まつり in 花やしき」を開催。

◇納豆…人手不足に悩まされている。人件費の上昇圧力も強く感じられる。

◇菓子…全体的に売上が伸びず、収益は減少。シルバーウィーク期間中は天候に恵まれ売上が伸びたが、中旬までの落ち込みをカバーできなかった。10月、11月の行楽シーズンは売上を伸ばす工夫をしていきたい。

◇繊維製品(袋物)…仕事は確保できているが、先行きの不透明感が多少出てきた。

◇木材…緩やかながら回復傾向がみられるが、受注先によって差がある。製品市場での木材販売店の引き合いはあるが、価格を押し上げるほどの勢いは感じられない。国産材原木は出荷量減により不足感が強まり、小幅な値上がりへ転じた。需要の先行きが不透明な状況で、コスト上昇分を価格転嫁できる状況にない。

◇プレカット…雨の日が多く、上棟の延期などで目標の80%程度にとどまった。杉乾燥材、合板価格が上昇傾向。

◇段ボール…常総市の洪水で組合員1社が被害を受け、未だに復旧のめどがたたない。組合を脱退するかもしれない。装置産業のこの業界で、機械装置が全て水没して使えなくなったときに顧客にどう説

明し、製品を届ける努力をするかを考える契機となった。危機管理の重要性を再認識した。

◇焼物…秋の行楽シーズンを迎え、人・物の流通に期待したい。笠間市内では、イベントが目白押しのため、少しでもにぎやかになるよう頑張りたい。

◇鍍金…売上は前年より1割程度減少した。受注量については、建築関連部品は変化ないが、自動車・建機・機械・電気製品部品などは大きいところで30から50%減少している。中国・韓国の景気後退の影響が少なからずあると思われる。金属材料価格は小幅な動き、工業製品の価格は小康状態。電気代は高止まりだが、原油価格が低下したため、燃料費が減少し助かっている。

◇電化機器…当月の生産高は、対前年同月比△172百万円(△21.5%)の627百万円。親工場からの受注が対前年同月比マイナスで大変厳しい状況。

◇自動車部品…売上高は対前年同月比やや増加。

◇工業団地(農機部品)…主得意先の上期国内向け増産計画が終了し、輸出向けの増産が始まった。輸出向け生産の企業と国内向け生産の企業では、売上に差がみられた。組合全体としては、対前年同月比で横ばい。従業員数は、臨時社員が前年同月比約4%増加した。

非製造業

◇水産卸…精算所取扱高は対前年同月比4.36%増。サンマ、イカが不漁。販売価格が上昇している。

◇食品卸売…野菜に関しては、8月から続く曇雨天・日照不足の影響で、単価高で推移。平成27年度の上半期を振り返ると、青果物の生産に厳しい天候が続き、野菜が単価高で推移した。

組合全体での上半期の取扱高は、対前年比で15%増となったが、各小売店に目を向けると、仕入価格が上昇し、利益を上げることが難しい状況が続いた。

◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は、対前年同月比約11%減少。建設工事の減少により、低迷が続いている。

◇家電…夏商戦が終了。売上は対前年同月比81%と厳しい結果となった。

地域密着活動として「高齢者宅無料安全点検訪問活動」を実施し、家電の困りごとだけでなく製品の安全に関する相談を受け付けるなど様々なケアを行い、地域に貢献していく。

◇県北地区共同店舗…シルバーウィークの影響により対前年同月比で売上が微増。

◇県央地区共同店舗…シルバーウィークは、商業施設への来店者が減少し、昨年並みの売上を確保で

きなかった。10月は地元で開催されるイベントが目白押しなので期待している。

◇**県南地区共同店舗**…気温が急激に下がり始めた影響で、衣料品の売上が対前年同月比105%と好調。その一方で、文化品を中心とした物販部門が苦戦した。シルバーウィークは、対前年比で売上が85%、客数が81%と振るわなかった。

◇**中古自動車**…株価の低迷、フォルクスワーゲンの排気ガス規制問題、新車販売の不振に加え、中古車の夕マ不足によりオークション事業（出品台数・成約率）が不振。ただし、東北・関東の水害によって一部地域では特需がある。

◇**石油**…ガソリンの販売価格は、前年同月比で33円下落した。依然として、仕入価格を下回るような安値販売競争が続いているため、廃止・休業に追い込まれる組合員が増加している。

◇**商店街（下妻）**…豪雨による水害の影響で、全体の売上は、横ばいからやや減少。部門別にみると、秋冬物衣料、家電製品が増加。プレミアム付商品券は、一時的にはよかった。

◇**ホテル旅館**…シルバーウィークの影響が顕著に表れた。県南・県央・臨海部では、宿泊単価を上げたにも関わらず稼働率・売上ともに上昇。客層は、家族連れよりもカップルや友人同士、団体客が多くみられた。全体的に好調。ただし、常総市の組合員は浸水被害をうけたため休業中。

◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車94.7%と減少、軽自動車102.0%と平年並み。

◇**総合建設**…土木工事は発注が少なく、景況が悪化。ダンピングが常態化し、かなり苦しい経営状況が続いている。建設業は発注が増加し景況が好転。しかし、同時期に同種工事が大量に発注されたため、同一職種に工事が集中。職人・原材料が不足し、工期遅延の問題が生じる可能性がある。

◇**電気工事**…関東・東北豪雨による鬼怒川氾濫で、水海道支部、古河支部の会員並びに水海道支部事務をあわせて25件の床上・床下浸水の被害に遭った。特に水海道支部の会員からは、事業を再建できるか未だに見通しが立たないとの声がある。自宅・会社・工事の材料・車輛などが水没し、汚泥にまみれ使用できない状態。組合としては、福利厚生面からの救済と、上部組織への救済願いのためのデータを提出し対応。水海道支部の住宅電気工事センターの機能がストップしたため、その業務窓口を組合が、作業を取手支部が協力して対応。

◇**県北地区運輸**…主要顧客が期末だったが、荷動きは低調。売上高は伸び悩んだ。燃料価格は高止まり傾向で、収益を圧迫している。

◇**県央地区運輸**…時季物（雑貨・衣類・家電）の荷動きが好調だった。前月に引き続き、農機具や部品の輸出も好調だった。一部地域では水害にあい、仕事が滞った。

H27.9月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況		
		前年同月比		前年同月比		
食料品製造業		▲	16.7		▲	16.7
その他製造業		▲	35.0		▲	50.0
卸売業			0.0		▲	25.0
小売業（商店街を含む）		▲	36.4		▲	45.5
サービス業			0.0			50.0
建設業			20.0		▲	20.0
運輸業		▲	100.0		▲	100.0
全体		▲	26.0		▲	38.0

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.値



アクモス 株式会社

<http://www.acmos.co.jp>

— 人と技術と感動を —

プロフェッショナルサービスプロバイダーのアクモスグループです

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7

TEL: 029-270-5555 FAX: 029-270-5531

本社 東京都千代田区神田小川町三丁目26-8 03-5217-3121	つくば事業所 茨城県土浦市鉾町1-1-1 関鉄つくばビル2F 029-834-3391
--	--



証券コード 6888